

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	成田市	代表者名	小泉 一成
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0476-20-1501
担当者役職	主幹	担当者氏名	成田 美ゆき
		連絡先E-mail	*****
住所	286-8585 千葉県成田市花崎町760		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

--

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は事前打合せだったが、気さくな雰囲気、また、話が簡潔でとてもわかりやすかった。事前に質問事項を送っていたが、その点について一つ一つ丁寧にご回答いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年6月26日	事前打合せ(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			14時00分	14時30分	
				活動時間（分）	30
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	○掲載可
------	------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	行政管理課職員	4人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	全庁的にDXの重要性は認識していると思われるが、いざ自分の部署で取り入れるとなると、BPRを含め業務改革をどのように進めたらよいかわからない、日々の業務に追われ新たなことに取り組む余裕がない、変化を嫌うなど、様々な理由により担当部署からの積極的な取組が見られない状況である。DX推進担当が伴走型で各部署と取り組んでいきたいと考えているが、それ以前に各部署の意識改革を行いたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修によって業務効率化や新たな業務へのチャレンジ精神など、職員の考え方に変化をもたらし、DX推進担当の伴走型支援により市民サービスの向上や業務効率化を実践する。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今回は事前打合せのため、特になし。
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	今回は事前打合せのため、特になし。

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は事前打合せのため、特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打合せのため、行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員誰もが、なぜこの業務にこの手順を入れているかなど、一つ一つの理由を意識し、手順の中で省けるものは省く、省けない場合にどのようにしたら効率化を図れるか、市民サービスの向上につながるかを考えながら職務を行う組織風土としたい。そこから、各部署の職員とDX担当がともに協力し	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		